

2017年度 RJE3 プログラム 「基礎科目」 新規募集要項

日露教育プログラムである RJE3 プログラムでは、本学と極東ロシア 5 協定校で開講する 4 段階の教育カリキュラムを学生の能力に応じて受講することで、極東・北極圏で活躍が期待される専門家を育成します。対象学生は、修士課程の学生を中心とし、大学院進学希望の学部生や博士課程の学生も含まれます。プログラムでの使用言語は英語です。英語に不安がある学生も、科目受講や学生交流により英語力を向上させることができますので、安心して受講してください。ロシア学生と共に受講する講義・実習・演習を通じて、日本とロシアの架け橋となるリーダーとなることを目指しましょう。

今回募集する「基礎科目」は「実習」と「概論」の2つの科目を8月に開講します。「実習」では、ロシアあるいは北海道で行われるフィールドワークを実施します。「概論」では、「実習」終了後、北大に日露の学生が集まり、文理融合した分野横断的な講義を開講します。講義は日露の教員が共同で担当します。また、「実習」「概論」の両科目を修了した学生には「基礎科目修了証」が授与されます。

「基礎科目」修了学生は、次のステップである「専門科目」「発展科目」の受講により、ロシア留学で単位取得を行うことができます。

<平成 29 年度 RJE3 プログラム「基礎科目」内容>

大学院共通科目である下記 2 科目を必ず履修すること。

① 「RJE3 実習」

次の 5 つの大学院共通授業科目から 1 つを選択すること※1

科目名	実施場所	期間 (予定) ※2	定員
「ヤクーツク実習：北極域永久凍土生態系実習」 *本実習は、北極圏大学の Thematic Network on Permafrost のサマースクールの一部でもあります。	ロシア ヤクーツク	8月初旬予定	10名程度
「シベリア実習：歴史・文化・民族」	ロシア イルクーツク	6月 or 7月予定	5名程度
「礼文島国際フィールドスクール」 *詳細は、下記のホームページを参照。 http://nt.caiss.hokudai.ac.jp/jp/ifs/	北海道 礼文島	8/7～8/25 予定	計 10名程度
「寒冷地開発技術実習」	札幌 札幌周辺	8月中旬予定	
「北方圏の文化と環境保全実習」	知床周辺 札幌	9/3～9/7 予定	

※1 コース選択は希望を考慮しますが、定員によっては必ずしも希望通りにならないことがあります。

※2 期間は変更する可能性があります。

② 「RJE3 概論」 大学院共通授業科目名 「極東・北極圏研究概論

(Introduction to Far East and Arctic Studies)」

日露教員による分野横断的な講義を行います。

開講場所は北海道大学であり、期間は **8/28-9/1** を予定しています (変更の可能性あり)。

1. 北海道・極東・北極圏の歴史と文化 (グループ討議を含む 4 回の講義)
2. 北海道・極東・北極圏の自然環境 (グループ討議を含む 4 回の講義)
3. 北海道・極東・北極圏の生活環境と地域開発 (グループ討議を含む 4 回の講義)
4. 北海道・極東・北極圏の現在と未来 (グループ討議を含む 4 回の講義)
5. グループ発表

＜履修までのスケジュール＞

	日時
履修説明会	平成 29 年 4 月 14 日 18:15-19:00
履修申請期間	平成 29 年 3 月 29 日～4 月 28 日（期間中に履修登録も行うこと）
履修者決定	平成 29 年 5 月中旬～下旬

＜履修資格＞

以下の条件を全て満たすこと

- ・平成 29 年 8 月時点で北海道大学に在籍していること。ただし、学部生は単位取得及び基礎科目修了証授与はできません。
- ・RJE3 プログラムの課題（環境評価・文化的多様性・土壌と生産・地域資源開発・防災管理）に興味を持ち、将来上記の課題解決に貢献する意欲があること。
- ・前年度（前年度の成績がない場合は前学期）の成績評価係数（GPA）が、原則として 2.00/3.00 以上であること（GPA の計算方法は、下記枠内を参照）。

成績評価	秀	優	良	可	不可
成績評価ポイント	3	3	2	1	0

（計算式）

$$\frac{(\text{「評価ポイント3の単位数」} \times 3) + (\text{「評価ポイント2の単位数」} \times 2) + (\text{「評価ポイント1の単位数」} \times 1) + (\text{「評価ポイント0の単位数」} \times 0)}{\text{総登録単位数}}$$

※履修した授業について単位制を採らない場合は、科目数をすべて単位数に置き換えて算出すること。なお、GPA 対象科目のみの成績評価係数を計算すること。

- ・研修に必要な英語能力を有していること。尚、下記スコアを有していなくても応募は可能です。（目安）英語：英検準 1 級、TOEIC 740、TOEFL (ITP/iBT/CBT)：550/80/213、IELTS 5.5

＜履修登録方法＞

各自で所属大学院の履修締切までに履修登録の上、**2017 年 4 月 28 日**までに下記書類をセントラル・オフィスに提出してください。なお、受講希望の学部生は一度ご相談ください。

- ①申請書（ダウンロード可）
- ②前年度 1 年間の成績証明書（コピー可）
- ③英語能力を証明する書類（英検または申請締切日より 2 年以内の TOEIC, TOEFL, IELTS など）
 - ※英語能力証明書は、持っている者のみ提出。
 - ※英語能力証明書を持っていない者については、別途追加書類を指示します。

＜学生支援＞

- ・「RJE3 実習」における宿泊費・交通費は、RJE3 プログラムが負担いたします。
- ・「RJE3 実習」の海外実習である「ヤクーツク実習と「シベリア学実習」の参加者で、下記条件を満たす学生には JASSO より 7 万円の奨学金が支給されます。
 - ※北海道大学の大学院生であること。
 - ※前年度（前年度の成績がない場合は前学期）の成績評価係数（GPA）が、上記計算式で原則として 2.30/3.00 以上であること（2.30 に満たない方は一度ご相談ください）。
 - ※日本国籍を有している者。または日本への永住が許可されている者。
 - ※経済的理由により自費のみでの採択プログラムが困難な者。
 - ※帰国時に規定の報告書と必要書類を提出できる者。
 - ※今後 RJE3 プログラム主催の交流会・報告会などに参加する者。

<その他>

- ・「RJE3 実習」の受講者で「RJE3 概論」を履修していない者は、上記学生支援の対象外です。また、修了証も授与されません。
- ・「RJE3 実習」の中には、別途参加費を徴収する科目もあります（詳細は後日説明）。
- ・海外で実施される「RJE3 実習」参加の際は、RJE3 センtral・オフィスが指定する海外旅行保険加入、危機管理保険加入が必須です（自己負担）。
- ・国内で実施される授業参加の際は、学生教育研究災害障害保険（学研災）加入が必須です（自己負担）。各自加入の有無について確認の上、未加入の人は必ず加入してください。
- ・「基礎科目修了証」取得後、希望者は「共同修了証」授与コースへ進むことができます。

【申請場所・問合わせ先】

国際部 2 階国際交流課内 RJE3 プログラム・セントラル・オフィス
担当：鈴木、虻川
内線：8143 E-mail: RJE-3@oia.hokudai.ac.jp
ホームページ：http://rje3.oia.hokudai.ac.jp/